



現在の風景



毛呂駅南側の岩井踏切

(昭和53年1月6日) (杉田幸夫さん提供)

毛呂駅南側にある岩井踏切から南西方面を写した写真です。刈入れの終わった田んぼが一面に広がり、山裾まで見通すことができます。

募集中

昭和50年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎ (295) 2112内線332 までご連絡ください。

徒然歳時記

ぶらんこ



ぶらんこは「ぶらりこ」「ふらここ」「ゆさぶり」「ゆさわり」などとも呼ばれ、昔から日本で親しまれてきた遊具です。

お隣の韓国でも、ぶらんこは古くからある伝統的な遊びで、旧暦4月8日(釈迦誕生日)から5月5日(端午の節句)までの期間、女性が特設の長いぶらんこを楽しむ「クネトウイギ」という風習があります。村の入り口や広場で、これに乗ってどこまで高くこげるかを競ったといひます。

漢語ではぶらんこを鞦韆しゅうせんといい、高く動かすと「羽化登仙」(羽のある仙人となって天に登る)の気持を味わえることから「仙人戯」ともいわれました。なお鞦韆は秋千とも書きますが、のんびりとした「ぶらんこ」にふさわしく、季語は春。中国北宋の詩人蘇軾の詩「春夜」は「春宵一刻値千金」(春の夜の一刻は千金に値する)にはじまり、「鞦韆院落夜沈沈」(中庭のぶらんこに乗る人もなく夜はしんとふけてゆく)で終わります。

町内には遊具のある公園が62か所ありますが、ぼかぼかとした春の陽気に誘われて、ぶらんこ遊びに興じるのも気持ちがよさそうです。

編集 平成20年7月20日号の広報で、メタボリックシンドロームを取材したY係長は、その後ウォーキングをはじめ、今ではウエストがすっきり！今回、保健センター事業を取材したIさんには、どんな効果が出るのでしょうか。今からワクワクしているところです。(M)

わがやのアイドル



田邊 牡丹ちゃん (2歳)

歌とダンスが大好き！ テレビで音楽が流れると、いつも元気に踊っています♪



岩田 柚希くん (1歳11か月)

毎日イタズラばかりしていますが我が家のムードメーカーです(^-^)  
最近では砂遊びが大好きで、一度外に出たらなかなかお家に入ってくれませ〜ん！ とてもやんちゃ坊主です(^o^)

■ 秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。  
☎ 役場秘書広報課 ☎ (295) 2112 内線 332